

事務事業評価シート

事業種別	継続	単独	事業類型	施設の管理・運営	1次評価のみ対象分
------	----	----	------	----------	-----------

事業名	98	柘植浄化センター維持管理経費	区分	11	公共下水道事業特別会計
基本施策	22	全市的に生活排水処理施設を整備する	コード	01	事業費
施策	2	公共下水道の推進と整備	項目	01	施設管理費
			目	01	施設管理費
			細目	101	施設管理費
			細々目	06	柘植浄化センター維持管理経費
基本計画該当頁	108		コード	554100	
行革大綱の重点事項番号	-	担当部課	名称	伊賀支所産業建設課下水道室	評価者氏名
					下水道室長 北川 幹 洋
				連絡先	45 - 9109 (内線) -

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	柘植処理区域内の住民 (対象件数 柘植地区 計画処理人口6,900人)	成果(どうなるのか)	処理施設の適正な維持管理によって、家庭等からの雑排水や尿が、きれいな水に浄化されて排出されることにより、地域の公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全が図られる。
開始年度	平成 9 年度	関連事業	農業集落排水事業	
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	下水道法・水質汚濁防止法・伊賀市公共下水道条例・同施行規則	
本年度事業内容	排水処理施設の設備や機械・装置等の保守・点検 浄化処理により発生した汚泥の処分 料金徴収事務	状況変化等	・供用開始から10年が経過していることにより電気機械設備の修繕費用が増加している。 ・新規加入者や接続数の伸びが鈍化している。	

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
施設保守点検(2週/回)	回	目標	10	10	10
		実績	10	10	10
水質検査(2ヶ月/回)	回	目標	4	4	4
		実績	4	4	4
汚泥処分回数	回	目標	41	42	42
		実績	38	34	42
料金調定件数	件	目標	13500	13500	13500
		実績	13610	13552	13500

運営体制

1 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	(施設保守・点検、汚泥処分は、委託)
2 配置(予定)人員	0.1 人
3 年間運営費	45,179 千円
4 市内の類似施設	農業集落排水処理施設 21施設 公共下水道、特定環境保全公共下水道施設 6施設

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
排出基準達成率(達成回数/測定回数)	処理水の水質検査結果が、浄化槽法及び水質汚濁防止による排出基準、及び施設の目標放流水質基準を満たしていることが重要であり、水質検査測定回数に対する達成回数の比率を指標とすることによって、適正な維持管理ができていくかを把握できる。	%	目標	100	100	100
			実績	100	100	100
使用料収納率(収入額/調定額)	適正な維持管理は、施設の健全な経営がなされて達成可能であり、維持管理経費の原資となる使用料の徴収率向上は、経営健全化及び適正な維持管理の達成度の指標となる。	%	目標	95	95	95
			実績	89.2	87.6	95

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全に寄与し、市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業である。
有効性	4	汚水処理能力の保持には、適切な維持管理を継続的に行う必要がある。
達成度	3	排出基準内で放流し、区域内住民からの悪臭、水質汚濁等の苦情件数や施設の故障等による使用中止事件もなく、概ね適切に事業が遂行されている。
効率性	3	施設の機械・装置等の適切な点検・維持を励行することにより、動力費や修繕費等の低減を図る、委託業務の見直し等による委託料の減等コスト削減の工夫をする余地がある。

総合評価	A	事業の方向性	統合	改善についての取り組み	一層の維持管理コストの削減に努めると共に、水洗化率の向上に努める。
------	---	--------	----	-------------	-----------------------------------

進捗状況	年度	平成17年度 決算内容			平成18年度 決算内容			平成19年度 計画内容			平成20年度 計画内容		
		事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)
委託	事業内容	需用費	1	9,702	需用費	1	8,621	需用費	1	10,701	需用費	1	10,429
		役務費	1	3,063	役務費	1	3,257	役務費	1	3,099	役務費	1	2,971
		委託料	1	36,119	委託料	1	36,057	委託料	1	18,907	委託料	1	14,992
		その他	1	14,613	その他	1	11,884	その他	1	12,472	その他	1	13,737
進捗率(%)			63,497			59,819			45,179			42,129	
事業投入人員		人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720
フルコスト(A)+(B)				64,217			60,539			45,899			42,849

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	金額	63,497	59,819	45,179	42,129
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
受益者負担					
その他	2,438			260	1
一般財源	61,059		59,819	44,919	42,128
計	63,497		59,819	45,179	42,129
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等	施設使用料 内部留保資金 2,417千円 雑収益 21千円	施設使用料	施設使用料 雑入 1千円 引継ぎ金 259千円	施設使用料 雑入 1千円